

「健康寿命を支える補綴処置と口腔ケア」

新潟大学名誉教授・明倫短期大学名誉教授 河野 正司

・抄 録

総人口に占める高齢者人口の割合は28.1%、男女別にみると、男性は25.1%、女性は31.0%となっており、男性は4人に1人が高齢者となっている。

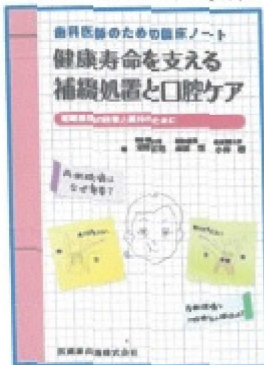
超高齢社会に突入している我が国においては、2006（平成18）年には介護保険制度が「介護予防」を重視する制度へと改正された。そのなかに「口腔機能の向上」を実現するために「口腔ケア」処置が導入され、補綴装置が長期間にわたり切り切ろうできる施策が、現在実施されている。

健康長寿の実現に欠かせない「栄養摂取」が、自らの補綴装置を使用しながら、口腔を通して生涯続けられるように、本講演で述べてみたい。

・略 歴

- 昭和40年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
- 昭和44年3月 同大学院修了 歯学博士(東京医科歯科大学)受領
- 昭和44年4月 東京医科歯科大学 助手(歯学部第二歯科補綴学教室)
- 昭和46年～ ビュルツブルグ大学、チュービンゲン大学(ドイツ)、UCLA、テキサス大学、
- 平成5年3月 新潟大学歯学部教授 歯科補綴学第1講座担当
- 平成11年4月 新潟大学歯学部附属病院長
- 平成16年4月 国立大学法人新潟大学理事・副学長
- 平成25年3月 明倫短期大学 学長 (平成31年3月まで)

* 演者の著作図書(抜粋)



- ・健康寿命を支える補綴処置と口腔ケアー 咀嚼機能の回復と維持のために 医歯薬出版(株)、2018年12月 (左図)
- ・補綴臨床テクニカルノート クラウン・ブリッジ編 医歯薬出版、2011年8月
- ・補綴臨床テクニカルノート 床義歯編 医歯薬出版、2015年4月
- ・補綴臨床テクニカルノート咬合編 医歯薬出版、2015年11月

- ・Cr-Br 咬合のルーツ Gnathology と対峙した石原咬合論・顎頭安定性と全運動軸 医歯薬出版、2013年3月
- ・咀嚼機能を支える臨床咬合論 欠損補綴とインプラントのために 医歯薬出版、2010年4月